

市議会だより

おかげさまで

No.200
記念号

平成28年2月10日発行

編集／発行

福井市議会だより編集委員会

福井市大手3丁目10番1号

TEL.0776-20-5506

まちなかも、 市議会だよりも、 次のステージへ



平成27年11月2日、建設中の福井駅西口再開発ビル「ハピリン」内を議員が視察し、完成後の活用とにぎわい創出について活発な意見を交わしました。

平成28年4月28日オープンする福井駅西口再開発ビル「ハピリン」(平成27年12月撮影)

特集

ふくい市議会だより
200号・50年の足あと……P2・P3
市議会の仕事って? ……P4・P5

12月

定例会

平成27年度福井市一般会計補正予算を可決

12月定例会は繰り上げ招集され、11月2日から30日までの29日間の会期で開かれました。

今定例会では、9月定例会において継続審査となっていた平成26年度各会計歳入歳出決算の認定等にかかる議案4件のほか、「平成27年度福井市一般会計補正予算」、「フェニックス・プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について」など市長提出の議案23件、報告1件を審議した結果、議案は18件を原案どおり可決、2件を認定、2件を可決及び認定、1件を同意、報告は1件を受けました。

また、請願、陳情については、今回新たに提出された請願1件、9月定例会において継続審査となっていた陳情1件を審議した結果、請願1件を採択、陳情1件を不採択とすることに決定しました。さらに、議員提出議案として、「災害ボランティア割引制度に関する意見書について」を審議した結果、原案どおり可決し、関係機関に意見書を提出することに決定しました。

そのほか、市政に対する一般質問を18人の議員が行い、30日、予定した日程を全部終え閉会しました。

12月

臨時会

東村市政3期目のスタート

12月臨時会は、平成27年12月24日に開かれ、再選しました東村新一市長が所信を表明しました。

今臨時会では、「福井市職員の再任用に関する条例の一部改正について」の市長提出の議案1件を審議した結果、原案どおり可決し、同日閉会しました。

ふくい市議会だより200号・50年の足あと

「ふくい市議会だより」1号が昭和41年4月30日に発刊されて50年、今回で200号を迎えました。市議会だより編集委員会では50年間の市議会だよりを振り返りながら、市議会の足あとや果たしてきた役割を市民の皆さんにどのような形で伝えていけばよいのか議論し、試行錯誤しながら主なものを年表にまとめました。50年間の出来事をすべてお伝えすることはできませんが、社会情勢や皆さんの記憶と重ねながらお読みいただければ幸いです。

51号～100号

昭和54年度
【当初予算】 655億円
【議員数】 44人



第51号（昭和54年5月10日発行）

1号～50号

昭和41年度
【当初予算】 72億円
【議員数】 36人



第1号（昭和41年4月30日発行）

福井市議会の主な出来事

- 北方領土日本復帰促進決議
- 政治の正常化についての決議
- 沖縄の祖国復帰要請に関する決議
- 財政硬直化に対する議会費節減に関する決議
- 地方議会議員半数改選制反対に関する決議
- 入札制度等の調査研究と兼業禁止規定に関する自粛決議
- 暴走族の追放に関する決議
- 国旗掲揚と国歌斉唱に関する決議
- 虚礼廃止に関する決議
- 食肉流通センター問題の早期解決に関する決議

和暦

- 昭和41年
- 昭和42年
- 昭和43年
- 昭和44年
- 昭和46年
- 昭和50年
- 昭和51年
- 昭和55年
- 昭和57年
- 昭和60年
- 平成元年
- 平成2年

福井市の主な出来事

- 坂井郡川西町編入
- 吉田郡森田町編入
- 福井国体の開催
- 衛生安全都市宣言
- 足羽郡足羽町編入
- 公害のない福井市を築くための宣言
- 青少年を守る都市宣言
- 市役所新庁舎完成
- 市の人口が24万人を超える
- 養浩館が国の名勝に指定される
- フェニックス・プラザ完成
- 市制100周年
- 非核平和都市宣言
- ゆとり宣言

151号～200号

平成15年度 【当初予算】 【議員数】	1,997億円 36人
平成27年度 【当初予算】 【議員数】	2,145億円 32人



第151号（平成15年11月10日発行）

101号～150号

平成3年度 【当初予算】 【議員数】	1,500億円 38人
--------------------------	----------------



第101号（平成3年6月10日発行）

- 福井市中央卸売市場PR館建設計画調査特別委員会設置（百条委員会）
- 福井市政の浄化を求める決議
- 災害対策特別委員会設置
- 飲酒運転根絶に関する決議
- 平成19年度福井市各会計予算議案に関する付帯決議
- 中学生の議会体験を開催
- 原子力発電所の安全確保を求める決議
- 福井市議会基本条例を制定
- 議会報告会を開始
- フラトン市博物館への平和モニュメントの設置に反対する決議
- 結城市制60周年式典のため結城市を訪問（18年間で11回の相互交流を続けている）
- 「くまもとお城まつり」参加のため、熊本市を訪問（19年間で23回の相互交流を続けている）

- 産業廃棄物処理施設建設に反対する決議
- 日本国憲法施行45周年にあたっての決議
- コメの国内自給、食料の安全・安定供給確立宣言
- 福井市議会議員団が熊本市を訪問
- 交通マナー日本一福井をめざす決議
- 高速増殖炉「もんじゅ」ナトリウム漏えい事故に関する意見書提出
- ロシアタンカー油流出災害対策に関する意見書提出
- 京福電車の安全運行に関する決議
- 福井市議会議員の政治倫理に関する決議
- 福井市議会議員団が結城市を訪問

平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	平成20年	平成19年	平成18年	平成16年	平成15年
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

- 一乗谷朝倉氏遺跡が国の特別名勝に指定される
- みどり図書館完成
- 環境を守るための都市宣言
- 養浩館庭園復元
- 福井市・熊本市姉妹都市提携調印
- 福井市長寿社会憲章制定
- お年寄りに優しい街づくり交通安全宣言
- 男女共同参画都市宣言
- 京福電車衝突事故
- 福井市・結城市友好都市提携調印

- 福井豪雨
- 美山町、越廼村、清水町編入
- アオッサオープン
- 福井フェニックススタジアム完成
- 第60回全国植樹祭の開催と天皇皇后両陛下の行幸啓

現在の「ふくい市議会だより」は、市民の皆さんに分かりやすく見ていただけるように、改善の努力を重ねています。市議会に関するご意見、ご要望などをお寄せいただき、市民の皆さんに親しまれる「ふくい市議会だより」にしていきたいと思っております。

市議会の仕事って？

(第2回)

福井市議会の特別委員会をご紹介します

2つ以上の常任委員会の所管にまたがる場合や、特に案件が重要であり特別に審査又は調査を要するような場合、議会の議決により特別委員会を設置しています。

予算特別委員会

予算特別委員会は、3月、6月、9月、12月の各定例会に提出された予算議案について、本会議で付託され審査を行います。

同時に、市政上の重要案件についても調査を行っており、広範かつ深い議論を交わすことにより、さらなる市政発展に資することを目的としています。



決算特別委員会

決算特別委員会は、決算議案が議会に提出される9月定例会において、その認定審査のために設置される委員会です。

決算議案が本会議で付託され、会議に諮って閉会中の継続審査とします。10人で構成され、全議員が任期中1回は就任するようにしています。



過去には、下記のような特別委員会も設置しました

- 市庁舎建設特別委員会 (S45 ~ S49)
- 治水対策特別委員会 (S48 ~ H3)
- フェニックスパーク建設特別委員会 (H7 ~ H10)
- 市町村合併対策特別委員会 (H14 ~ H16)
- 福井市中央卸売市場 PR 館建設計画特別委員会 (H15)
- 災害対策特別委員会 (H16)
- 災害・危機管理対策特別委員会 (H17 ~ H18)
- 議会改革特別委員会 (H22 ~ H26)
- 西口再開発対策特別委員会、公共交通・まちづくり対策特別委員会 (H23 ~ H26)

本年度、設置した2つの特別委員会をご紹介します

地域の活力創造対策特別委員会

企業誘致や農地の機能維持といった土地利用や観光資源など地域における資源の開発を有効に行うことにより、雇用の創出などにつなげ、地域の活力をいかに生み出していくかということ調査研究するために設置しています。

- ・雇用の現状と課題について～地方創生の観点から～
- ・福井市農業活性化プランに基づく取り組みについて
- ・福井市新観光ビジョン策定について
- ・福井市林業水産業プランについて
- ・有害鳥獣対策について

【開催日】平成27年10月19日(月)～20日(火)
 【調査事項】・総合6次産業都市について(西条市)
 ・創業支援について(倉敷市)



倉敷市での視察の様子

西条市は、6次産業化の取り組みにおいて、地方創生のモデル事業となる地域再生計画の認定を受けるなど、全国の中でも先進的な都市となっています。野菜の加工・出荷を行う施設を整備したり、6次産業を担える人材を育成するために教育機関と連携するなど、様々な視点からの取り組みを行っていました。これらは、農業の振興に取り組んでいる本市においても参考になるものでした。

また、倉敷市は、創業を支援するためにくらしき創業サポートセンターという団体を設立しています。この団体には金融機関や商工会議所がメンバーとして加わり、経営指導など起業の段階に応じた幅広いサポートを行っているとのことでした。このことから、起業する人を増やすためにはきめ細かな支援が重要だと感じました。

県都の魅力創出対策特別委員会

西口再開発ビルや西口駅前広場を初めとした福井駅周辺整備や、国、県とともに整備を進めている北陸新幹線早期開業や相互乗り入れなどの公共交通に関連する施策により、県都としての魅力をいかに創り出していくかということ調査研究するために設置しています。

- ・福井駅西口中央地区市街地再開発事業と西口駅前広場の整備について
- ・県都デザイン戦略について
- ・田原町駅周辺整備について
- ・交通まちづくり社会実験について
- ・北陸新幹線福井駅デザインコンセプトについて
- ・地域鉄道の整備について

【開催日】平成27年10月15日(木)～16日(金)
 【調査事項】・セントラルパーク構想について
 ・民間活力を活かした公園施設の運営について(福岡県)
 ・IT活用による歴史資源の魅力向上について(福岡観光コンベンションビューロー)



福岡城むかし探訪館での視察の様子

福岡県と福岡市は、それぞれが管理する公園を県民・市民の憩いの場や歴史、観光の発信拠点として一体的に活用するため、セントラルパーク構想を策定しています。また、公園の利便性向上のため、民間の力を活用した公園施設の整備に取り組んでいます。これらは、福井県と本市が県都デザイン戦略により、福井国体、北陸新幹線延伸等を見据え、県都の顔づくりに取り組んでいることの参考になるものでした。

また、福岡市は、本市と同じように歴史建造物がほとんど現存していないため、ITを活用した歴史の再現に取り組んでいます。これは、一乗谷朝倉氏遺跡など本市の歴史資源を観光客の方にどう見てもらうかということに今後活かしていけると感じました。

設置目的

今までに調査してきた項目

行

政

視

察

主な議案

今回議決した主な議案等は次のとおりです。議案等の審議結果は、13～14頁に掲載しています。

12月定例会

各会計決算の認定

9月定例会において決算特別委員会に付託され、継続審査となっていた平成26年度各会計

(一般・特別・企業) 決算の認定等について審査するため、10月1日、2日の2日間委員会を開催しました。審査の結果、付託された各会計決算の認定等について、いずれも原案どおり可決及び認定しました。

(各会計決算は左記の表参照)

平成26年度 一般会計・特別会計決算総括表

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	
一般会計	111,343,063,460	110,247,323,120	
特別会計	国民健康保険	25,271,939,683	28,221,044,009
	国民健康保険診療所	4,817,314	4,502,970
	後期高齢者医療	2,947,962,468	2,943,868,118
	介護保険	22,432,210,360	22,325,013,679
	交通災害共済	7,186,167	6,711,008
	競輪	11,173,615,000	10,986,419,395
	簡易水道	510,271,663	510,076,349
	宅地造成	5,567,749,319	4,932,663,132
	中央卸売市場	853,992,047	853,273,642
	駐車場	402,792,164	402,370,714
	集落排水	1,006,505,722	1,006,158,836
	地域生活排水	182,248,338	182,025,396
	福井駅周辺整備	1,644,885,485	1,644,384,096
合計	183,349,239,190	184,265,834,464	

平成26年度 企業会計決算総括表

(単位：円)

会計	区分	収入	支出	収支
下水道事業	収益的収支	9,407,466,193	8,829,724,816	577,741,377
	資本的収支	4,862,265,296	7,233,105,831	△ 2,370,840,535
ガス事業	収益的収支	3,858,037,120	3,316,980,755	541,056,365
	資本的収支	383,475,248	1,061,552,210	△ 678,076,962
水道事業	収益的収支	5,812,904,081	4,816,241,395	996,662,686
	資本的収支	1,190,831,967	3,414,486,640	△ 2,223,654,673

- 収益的収支：(料金収入等)－(サービスの提供に必要な経費等)
- 資本的収支：(企業債等)－(建設改良費や企業債元金償還金等)
- 各企業会計の資本的収支における不足額は、損益勘定留保資金、消費税資本的収支調整額などで補てんしています。
- 消費税を含む金額です。

平成27年度補正予算

今回の補正予算は、一般会計で9億5,890万2,000円を増額するもので、補正後の予算額は1,140億22万円となります。

また、補正後の全会計の予算額は、2,192億322万円となります。

○一般会計補正予算

地域農業の中心となる事業者の経営効率化を図るため、農業

経営の組織化、法人化や農地中間管理機構を通じて農地を貸し付けた個人及び集落等に対し支援を行う担い手・農地総合対策事業や、子ども・子育て支援新制度の施行に伴う公定価格(国が定める基準により算定した費用の額で運営費支給の計算基礎となるもの)の引き上げや、多子世帯の保育料無償化範囲の拡大などに伴い、私立保育園、私立認定こども園及び私立幼稚園に対し、運営費を支給する子ども・子育て支援事業や、放課後留守家庭児童の受け入れ態勢を整えるため、児童クラブの移転・拡張を行う児童クラブ設置事業などに9億5,890万2,000円を計上するものです。

条例

○フェニックス・プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について

○福井市民福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

現在の福井市民福祉会館が老朽化により平成29年3月で閉館されることに伴い、フェニックス・プラザ内にその機能を移転するため、それぞれ改正を行うものです。

○福井市体育施設条例の一部改正について

福井市弓道場の移転に伴い、位置や使用料等を変更するとともに、福井市体育館サブアリーナの新築に伴い使用料を定めるものです。

人事案件

教育委員会委員

平成27年12月17日をもって任期満了となる佐藤藤枝氏を引き続き選任することに同意しました。

市会案(議員提出議案)

意見書の提出

地方自治法第99条の規定により、次の意見書を内閣総理大臣ほか、関係機関に提出しました。

○災害ボランティア割引制度に関する意見書について

12月臨時会

条例

○福井市職員の再任用に関する条例の一部改正について

厚生年金保険法等の一部改正に伴い、各規定の整備を行うものです。

委員会審査

各特別委員会、各常任委員会の委員長報告から、主な質疑等の要旨を紹介いたします。
(日程順に記載)

決算特別委員会

《福祉基金》

問 基金はどのように積み立てしているのか。また平成26年度末の積立金残高は2億3,000万円で、平成25年度末に比べて1億円減っているが、この使い道はどのようなものか。

答 福祉基金については、市民からいただいた寄付金を積み立てている。
また、平成26年度の基金の使

い道については、保育所等の施設整備事業に3,700万円、児童館運営事業に6,300万円を取り崩した。

《就学援助費》

問 生活困窮者に対して学校給食費等を助成している

就学援助費については、保護者の口座に直接振り込まれることによりほかの生活費に充ててしまい、学校給食費が支払えないということも考えられるが、滞納されないような工夫は行っているのか。

答 就学援助費の支給は保護者の口座に振り込むのが原則だが、学校給食費等の滞納がある場合には、学校と保護者の話し合いにより、先に滞納分を納入してもらい、残りの額を支給するという措置をとっている。

問 就学援助費の支給は保護者の口座に振り込むのが原則だが、学校給食費等の滞納がある場合には、学校と保護者の話し合いにより、先に滞納分を納入してもらい、残りの額を支給するという措置をとっている。

答 就学援助費の支給は保護者の口座に振り込むのが原則だが、学校給食費等の滞納がある場合には、学校と保護者の話し合いにより、先に滞納分を納入してもらい、残りの額を支給するという措置をとっている。

《株式等譲渡所得割交付金》

問 株式等譲渡所得割交付金の予算額と収入済額に大きな差がある理由は何か。

答 所得税法の改正により、株式等譲渡所得に係る税率が10%から20%になり、それを見越した株式の売却が増えたためと分析している。

《国民健康保険特別会計》

問 療養給付費交付金の収入予算額約26億円に対して

決算額が約15億円と大きな開きがあるが、その理由は何か。
答 予算編成時期において退職者医療制度の対象者を60歳以上と見込んでいたが、当

該年度は年金の支給の関係上、対象者が61歳以上ということになり、対象者が減ったためである。

地域の活力創造対策特別委員会

《福井市新観光ビジョン》

問 策定委員会の中で、観光地への公共交通が不足している指摘を受けたとのことだが、具体的にどう改善していくのか。

答 バスをはじめとする公共交通では、通勤、通学のために朝夕に本数が多く、その分観光客が利用する日中が手薄となっている。そういったことから、策定委員会では観光地を周遊するバスについての意見が出ており、検討しているところである。

《福井市林業水産業プラン》

問 このプランでは森林のCO₂の削減効果といった環境面での考え方が欠けている。策定委員会にそういったことを提案するべきではないか。

答 CO₂の削減効果については大変重要なことと考えているので、策定委員会において再度検討したい。

県都の魅力創出対策特別委員会

《西口駅前広場の整備》

問 西口駅前広場の恐竜ミニユメントの設置場所及び設置期間について、現時点で県との協議はどのような状況か。

答 市の提案の現在設置している場所といこいの広場の2カ所のうち、県からは現在の場所に置きたいという要請があった。期間については、県、市ともに北陸デスティネーションキャンペーンが終了する平成27年12月いっぱいまで設置することで進めており、その後については今後協議していく。

問 自然史博物館分館「セーレンプラネット」は、どのような番組コンテンツでグラウンドオープンを迎えるのか。

答 番組コンテンツは、主に平日に放映する学習投影としてのプラネタリウムを、学習指導要領に基づいて小・中学生を対象としたもののほか、子供向け、大人向けといった種類を準備する。そのほか土日、祝日や週末の夜などに放映する集客を目的とした番組や平日の夕方などに放映する観光情報や地域情報をまとめた映像の準備を

現在進めている。

総務委員会

《フェニックス・プラザ及びフエニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定》

問 福祉関係の駐車場を増やす予定はあるのか。

答 今回の福井市民福祉会館の移転を受け、フェニックス・プラザの正面入口に近いイベント広場の南側にハートフル専用パーキングを整備したいと考えている。

問 工事請負契約の変更について(東安居団地C棟新築工事)

答 既存の杭の位置が図面よりも少しずれていたことによる支障部分の撤去や、新設の杭の位置変更の調査が必要になったこと、また、仕上げの時期が冬場にかかると気候的に屋上の防水工事や外壁の塗装工事に支障があることから、その工期を確保するため、工期を延長した。

建設委員会

《工事請負契約の変更について(東安居団地C棟新築工事)》

問 4カ月の工期延長が必要なる理由は何か。

答 既存の杭の位置が図面よりも少しずれていたことによる支障部分の撤去や、新設の杭の位置変更の調査が必要になったこと、また、仕上げの時期が冬場にかかると気候的に屋上の防水工事や外壁の塗装工事に支障があることから、その工期を確保するため、工期を延長した。

経済企業委員会

《福井市研修センターの指定管理者の指定》

問 施設あるいは備品の老朽化により、今後は修繕等の費用が増えることが想定されるが、市と指定管理者の費用負担はどうなっているのか。

答 研修棟、実習場ともに施設、備品の老朽化が進んでいることから、指定管理者側の修繕等の上限額を、これまでの年50万円から年70万円に引き上げることとした。備品の購入等については、指定管理者と協議しながら進めていきたい。

教育民生委員会

《児童クラブ設置事業》

問 木田、明新、松本地区の児童クラブの定員が拡張されることにより、小学校3年生まで希望者全員の受け入れが可能になるのか。

答 また、この事業では、指導員の確保が難航していたというところだが、指導員確保の目途がついたのか。

答 Answer 小学校3年生まででなく、全学年を全て受け入れられるような体制を整えた。

また、指導員については、人員を確保し、特に問題なく運営している。

一般質問

当面する諸問題について市の考え方を質問するため、平成27年11月9日から11日までの3日間、18人の議員が一般質問を行いました。

※ 議員名の前の番号は質問順、()内は会派名、質問内容は大項目を掲載しています。

(敬称略)

<p>① 加藤 貞信 (志政会)</p> <p>1 福井市総合計画及び中核市移行について 2 ガールズケイリン開催の成果及び今後の競輪事業について 3 福井市の教育について</p>	<p>② 奥島 光晴 (一真会)</p> <p>1 小規模中学校の部活動のあり方について 2 工事監理及び入札制度について 3 北陸新幹線について</p>	<p>③ 堀川 秀樹 (市民クラブ)</p> <p>1 福井駅西口中央地区市街地再開発事業における「ハビリン」の整備状況について 2 アクティブスペースの活用及び新設について 3 公共交通ネットワークにおける福井鉄道駅前線延伸の問題点について</p>
<p>④ 下畑 健二 (公明党)</p> <p>1 教育について 2 福井市自然史博物館分館について 3 福井市人口ビジョン・総合戦略(案)について 4 地方公会計の整備について</p>	<p>⑤ 藤田 諭 (志政会)</p> <p>1 福井市人口ビジョン・総合戦略(案)から見る本市の人口減少対策について 2 鳥獣害対策について</p>	<p>⑥ 八田 一以 (一真会)</p> <p>1 東藤島地区の公共下水道整備事業について</p>
<p>⑦ 吉田 琴一 (市民クラブ)</p> <p>1 本市の原子力災害に伴う広域避難者受け入れの訓練について 2 移住定住サポート事業の進捗状況と今後の対応について 3 子ども・子育て支援新制度の現況と課題について 4 ガールズケイリン開催の成果と今後の課題について</p>	<p>⑧ 西村 公子 (日本共産党議員団)</p> <p>1 中核市移行について 2 北陸新幹線延伸に関する諸問題について 3 TPP「大筋合意」の内容と市民生活への影響、並びに福井市林業水産業プラン(素案)について 4 学校施設のトイレ改修について</p>	<p>⑨ 水島 秀晃 (志政会)</p> <p>1 小・中学校における土曜授業について 2 未就学児のいる家庭への支援について 3 地方創生について</p>
<p>⑩ 島川 由美子 (公明党)</p> <p>1 「健康ふくふくプラン21」素案について 2 学校の防災対策について 3 女性の視点での地域防災・復興について 4 代読・代筆支援について</p>	<p>⑪ 鈴木 正樹 (日本共産党議員団)</p> <p>1 介護保険制度の問題について 2 原発再稼働と原発防災及び避難計画の周知について 3 第3次福井市環境基本計画と再生可能エネルギーの促進について</p>	<p>⑫ 片矢 修一 (市民クラブ)</p> <p>1 地域福祉政策について 2 公共施設の設備、備品の更新について</p>
<p>⑬ 近藤 實 (志政会)</p> <p>1 福井市人口ビジョン・総合戦略(案)について 2 結婚教育について 3 科学技術教育について 4 男女共同参画について</p>	<p>⑭ 村田 耕一 (市民クラブ)</p> <p>1 男女共同参画の取り組みについて 2 本市の防災行政について</p>	<p>⑮ 菅生 敬一 (公明党)</p> <p>1 国土強靱化とエネルギー対策について 2 林業の振興策について 3 街路樹をめぐる問題について 4 福井駅東口における諸問題について</p>
<p>⑯ 池上 優徳 (福井 伝統と創造の会) ※</p> <p>1 中山間地域の人材育成について 2 園芸の振興について 3 地域定着型の食育交流活動について</p>	<p>⑰ 福野 大輔 (一真会)</p> <p>1 小・中学校における不登校について 2 統一的な基準による地方公会計の整備について</p>	<p>⑱ 中村 綾菜 (市民クラブ)</p> <p>1 福井市人口ビジョン・総合戦略(案)について 2 高齢者福祉について 3 友好都市結城市との今後について</p>

※池上優徳議員は、平成27年12月24日に福井 伝統と創造の会から一真会に会派異動しています。

一般質問要旨

福井市の学力向上の取り組みについて



かとう さだのぶ

加藤 貞信 議員

志政会

質問

福井市は学力向上の取り組みとして、タブレットコンピュータなどICTを活用した授業の取り組みを推進しているが、ICT環境のさらなる整備は今後どのように進めていくのか。

回答

平成28年度には、全ての小学校で現在設置されている児童用のパソコンをタブレット端末に入れ替える予定をしている。

また、中学校については、現在のパソコンのリース期間が終了する平成31年3月以降にタブレット端末に入れ替える方向で検討している。さらに、教室においてタブレット端末が利用できるように、WiFi環境や授業支援ソフト等の整備を進めていく。

北陸新幹線について



おくしま みつはる

奥島 光晴 議員

一真会

質問

北陸新幹線の開業により、移動時間の短縮が見込まれる一方、観光客やビジネス客が懸念される。そのため、宿泊しなければ体験できないような観光商品を打ち出す必要があると思うが、市の見解は。

回答

宿泊を伴う観光商品をつくってもらうため、平成27年11月に首都圏の旅行会社等を招き「福井DEナイト」を実施した。その中で一乗谷レストラントや一乗谷朝倉氏遺跡の視察、ふくい鮮いちばの見学、グリフイス記念館や柴田神社の早朝のまちなか散策等、本市の魅力ある観光素材を紹介した。

また、現在策定を進める福井市新観光ビジョンでも、滞在時間の延長や宿泊に結びつく観光素材を掘り起こす視点を持ちながら検討していく。

公共交通ネットワークにおける福井鉄道駅前線延伸の問題点について



ほりかわ ひでき

堀川 秀樹 議員

市民クラブ

質問

福井鉄道駅前線延伸については、平成24年8月から長年にわたり議論してきたが、現ダイヤの確保について市はシミュレーション等を示しながら、スムーズな運行が可能とってきた。地元は利便性が高まり、乗客数が増えるならばと承認したにも関わらず、ここに来て減便することになるが、約7億円を投資して不便になる責任はどう考えるのか。

回答

ダイヤは、現在、鉄道事業者が相互乗り入れのダイヤを含めて調整しており、減便になる可能性があるという。本市としては、利便性が損なわれないよう鉄道事業者に要望するとともに、現行ダイヤが維持できるように、さまざまな案を検討している。

移住促進への空き家の活用について



しもばた けんじ

下畑 健二 議員

公明党

質問

都市部の若い世代ほど移住に前向きで、今後は人口が過度に集中している大都市圏から本市への移住も期待される。居住を希望する方には空き家の活用が主力になるが、具体的な受け入れ態勢は。

回答

空き家の活用は有力な手段と考えている。今年度、本市が国に対して行った空き家利用に関する旅館業法改正の提案により、有償による空き家等への短期滞在が可能となる見通しが出てきたことから、今後は空き家所有者や不動産業者等と受け入れ態勢を構築し、短期間のお試し居住を促進し、空き家物件の賃貸や売買につなげたい。

福井市人口ビジョン・総合戦略(案)から見る本市の人口減少対策について



ふじた さとし

藤田 諭 議員

志政会

質問

人口減少が進み、県外への転出超過傾向にある中、本市の強みを生かし、都市部からの移住者を呼び込むために、県外者に本市の強みをどのように売り込むのか。

回答

本市の住みよさや日本一の子育て環境、全国トップクラスの教育環境など、大都市にはない福井の強みを売り込むことで都会からの新しい人の流れをつくっていく。

また、移住相談や福井の暮らしを体験してもらうツアーを実施するなどの移住、定住支援を行う。そのきっかけとして歴史、文化資源を磨き上げ、その魅力を発信し本市のプロモーションを進め、交流人口の拡大を図る。

東藤島地区の下水道整備に
ついて



はった いちい
八田 一以 議員
一真会

質 問

東藤島地区の下水道整備事業の進捗状況は。平成32年度に全体工事が完了できるのか。工事に伴う交通渋滞、交通事故防止対策は。

回 答

追分町内及び大和田町で今年度、主要幹線管路を敷設し、来年度から町内の汚水管を敷設予定である。
全体の工事が完了する時期は、国の補助制度の変更等により遅れることが見込まれる。
通勤時間帯を避けたり夜間に工事を行ったり、交通誘導員の配置、工事看板による迂回路の案内により交通渋滞、交通事故防止に努めている。
また、施工時期や迂回路について関係部局や自治会と十分な調整を行い円滑な交通の確保に努める。

子ども・子育て支援新制度
について



よしだ きんいち
吉田 琴一 議員
市民クラブ

質 問

平成27年4月からの子ども・子育て支援新制度の移行にあわせて、認定こども園に移行した私立保育園、私立幼稚園の数は。また、今後移行を予定している私立保育園、私立幼稚園の数は。

回 答

新制度の移行にあわせて認定こども園に移行したのは、私立保育園が10園、私立幼稚園が1園である。
また、平成27年8月に実施した各施設への意向調査によると、平成31年度までに認定こども園への移行を希望しているのは、私立保育園が41園中37園、私立幼稚園が14園中11園である。

中核市移行について



にしむら きみこ
西村 公子 議員
日本共産党議員団

質 問

中核市移行のメリット・デメリットや財政負担についての考えは。また、中核市移行に必要な市議会等の議決までに1年余りしかないが、市民への説明と理解は得られるのか。

回 答

中核市移行のメリットは、行政サービスの一元化と迅速化、市民サービスの充実、市民の健康や財産を守る体制づくり、特色あるまちづくりの推進、県都としての役割を果たすための機能強化等であり、デメリットはないと考えている。また、移譲事務に係る経費は、地方交付税により財源措置される。
今後は、市政広報やホームページで中核市移行の目的、効果、取り組み状況等を掲載したり、出前講座を活用したりするなど、市民への周知、理解を図っていく。

小・中学校における土曜授業について



みずしま ひであき
水島 秀晃 議員
志政会

質 問

本市の小・中学校における土曜授業や土曜学習の現状と、今後の取り組みへの考え方は。

回 答

昨年度、本市では小学校26校、中学校22校で、振り替えの休みを設けた上で、授業参観や学校祭等の学校行事を土曜日等に実施した。また、小学校1校、中学校11校で土曜日の課外授業を実施した。
土曜学習については、市立図書館や博物館等の社会教育施設が小・中学生に向けて体験活動などを取り入れた様々な取り組みを実施している。
平成17年度から中学校区教育において、組織的、計画的に教育活動を進めており、土曜授業という形は取らなくても、小・中連携や、学校・家庭・地域を結び付ける活動に積極的に取り組んでいる。

「健康ふくふくプラン21」策定について



しまかわ ゆみこ
島川 由美子 議員
公明党

質 問

市民一人一人が健やかな生活習慣を送るとともに、社会全体が協働して健康づくりの環境を整え、生活習慣病の発症と重症化を予防することで健康寿命の延伸、生活の質の向上を目的とした、「健康ふくふくプラン21」の策定にあたり、これまでの総括と新たな計画は。

回 答

今実施している「健康ふくふく21」では、幼児期に正しい生活習慣の定着がみられ、成人期では、喫煙率等で改善が見られた。一方で、運動習慣のある人の割合の減少や、若い世代に生活習慣病につながる要因が現れており、新たな計画では、身体活動・運動の取り組み強化や、若い世代の健康づくりへの支援、職場への働きかけを行っていく。

原発再稼働について住民への説明会を



すずき しょうじゅ

鈴木 正樹 議員

日本共産党議員団

質問

NHKの調査結果によれば、福井市を含む地域の県民は高浜原発再稼働へ「反対」が52%、「事業者から説明を全く又はあまり受けていない」が70%以上と、住民は再稼働に納得していない。再稼働の前に福井市内での住民への説明会を県や関西電力に求めるべきでは。

回答

高浜原発の再稼働にかかる福井市民への説明会については、本市は高浜原発から、UPZ外（緊急時防護措置を準備する区域外）に位置していることから、まずは、安全協定を締結している立地自治体や、高浜原発からUPZ内に位置している自治体の住民に対する対応について、関西電力や国の動向を見守る必要があると考えている。

地域福祉政策について



かたや しゅういち

片矢 修一 議員

市民クラブ

質問

4月からはやねっと（地域包括支援センター）が、今までの9箇所から、13箇所に増設される。また、担当エリアも見直され、事業者が変わるところがあるが、地元への説明、理解は十分あったのか。また、福祉全体の相談窓口として活用できないのか。

回答

市内4箇所での説明会やパブリックコメントを通して、市民の方々の理解が得られるように努めたところである。今後は事業の十分な引継ぎを行うとともに、新しいはやねっとの周知を図っていく。また、相談窓口は、国が平成27年9月に策定した「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」の中で自治体ごとの整備を計画していることから、今後、その動向を注視し、適切に対応していきたい。

結婚教育について



こんどう みのる

近藤 實 議員

志政会

質問

結婚に関する副読本の作成について、教育委員会として独自に作成することはないとのことだが、既に作成された適切な副読本があれば、それを使用することは可能と考えてよいのか。

回答

福井県選挙管理委員会が作成した副読本を社会科の授業等で活用していることと同様に、結婚について他で作成された資料や副読本で、その内容が学習指導要領などを踏まえた適切なものであるならば、活用することは可能である。

本市の防災行政について



むらた こういち

村田 耕一 議員

市民クラブ

質問

本市内部の組織の縦割りや、国、県における組織の縦割りから危険箇所への対応が遅れる場合が考えられるが、市民の生命と財産を守るといふ観点から、組織を超えた迅速な対応はできないのか。また、民間のビル管理業者に緊急避難先として対応してもらえないのか。

回答

危険箇所についての通報や、要望があった場合は、責任を持って担当所属に取り次ぐなど、迅速な対応を行う。また、民間ビルへの緊急避難については、洪水ハザードマップで浸水が相当程度に及ぶ地域において特に垂直避難が有効であることから、民間ビルの活用について他自治体の状況を調査していく。

エネルギー対策について



すごう けいいち

菅生 敬一 議員

公明党

質問

大規模災害が起こった時、市役所、総合支所及び防災センターの機能を維持するため非常用電源はきちんと整備されているのか。また、クリーンセンターで発電している電気の今後の活用方法は何かあるのか。

回答

市庁舎、防災センター及び中消防署には発電機を設置しており、停電時も最低限の機能は維持することができる。しかし、総合支所には設置されていないため、必要に応じてポータブル型発電機により電源を確保する。また、余剰電力の活用については、災害時に電源供給が無くても自立して運転できる施設とすることや、防災拠点としてのあり方、近くの防災施設への電力供給についても検討していく。



いけがみ まさのり

池上 優徳 議員

福井 伝統と創造の会

中山間地域の人材育成について

質問

農業の担い手育成のため、廃校・休校施設等を利用して研修交流体験施設を整備し、地域の農業を守る営農活動をはじめ、新たな特産物の生産加工、交流体験活動、就農のための研修を総合的に行う本市独自の「農村定住促進プロジェクト」を立ち上げるべきと考えるが、市の見解は。

回答

三里浜砂丘地がある白方地区において、地元農家や関係者からなる園芸振興協議会を中心として、就農者の受け入れ体制の整備を進めている。具体的には、園芸カレッジ修了者に対し、地域の協力のもと、住まいや農地情報の提供を行うとともに、地域の認定農業者や県の普及指導員等と連携し、実践的な技術指導を行う体制を立ち上げている。



ふくの だいすけ

福野 大輔 議員

一真会

小・中学校における不登校について

質問

不登校にはさまざまな原因があるが、その一つとして家庭環境によるものがある。現状、家庭環境の問題を解決するスクールソーシャルワーカーは本市では少ないと考えるが、今後増員する予定はあるのか。

回答

また、不登校の原因は他にもあるが、本市ではどのような事業に取り組んでいるのか。本市では、主任児童委員や民生委員児童委員とスクールソーシャルワーカーが連携して対応しており、増員については引き続き県に要請していく。不登校に対しては、福井大学の学生約70名をライフパートナーとして派遣し、不登校の児童・生徒の学校復帰を支援するなど、個々のケース毎に医療・福祉等の関係機関とも連携して取り組んでいる。



なかむら あやな

中村 綾菜 議員

市民クラブ

高齢者福祉について

質問

高齢者がいきいきと生きがいを持って暮らせる社会を作っていくために、また、地域包括ケアシステムを構築するために、福井市がリーダーシップをとるべきと考えるが、市の見解は。

回答

現在、平成29年度から行う地域包括ケアのビジョン構築に向けて、地域包括ケアシステム構築推進協議会の中で内容を検討している。また、来年度からは地域包括支援センターの担当エリアを新たな区割りにして業務を行うことになっており、センターの職員とも連携しながら地域包括ケアをきちんと行えるように努めていきたい。

予算特別委員会

各会派における主な質疑内容を紹介します。

志政会	青木 幹雄	野嶋 祐記
伊藤 洋一	水島 秀晃	
瀧波 滋		

一真会	皆川 信正	今村 辰和
奥島 光晴	田中 義乃	
福野 大輔		

●田原町駅周辺整備と相互乗り入れ

Question

田原町駅は乗り継ぎ拠点として位置づけられているが、バスとの乗り継ぎの強化についてはどのように考えているのか。

Answer

現在、駅の最寄りのバス停である田原町バス停には、福鉄バスのみが停車しているが、今回の駅周辺整備に合わせ、京福バスも停車することとなり、京福バス利用者にとって、今までの最寄りの体育館前バス停よりも駅に近くなる。また、バス停付近に上屋付きのバス待合所を整備する予定であることから、電車とバス間の乗り継ぎの利便性向上が図られる。

●総合戦略の推進体制

Question

基本目標の一つである、県都として中心的な役割を担うとともに、時代に合った住みやすいまちを創造するため、どのような施策が必要と考えているのか。また、それらの施策をしっかりと進める体制づくりが必要ではないか。

Answer

目標達成のためには、中核市移行により市の自主性、自立性を高め、より質の高い市民サービスを提供すること、また、周辺自治体と連携し、圏域全体の発展を牽引していくことや、地域住民や団体との連携を強化し、地域コミュニティを活性化することなどが必要と考えている。また、これらを進めていくためには、より着実に施策を実行できる組織体制を作る必要があることから、今後整理していきたい。

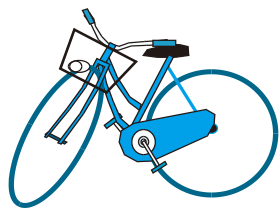
市民クラブ

堀川 秀樹 玉村 正人
片矢 修一

●福井市自転車利用環境整備計画

問 今後の中心市街地における自転車駐車場についてはどのような整備方針か。

答 平成28年4月に完成する西口再開発ビルの中に150台分の自転車駐車場を設置することにより、既存の自転車駐車場と合わせると、中心市街地の自転車駐車場の収容台数は確保できると考えている。しかし、現状では、通勤、通学のバス利用や買い物を目的とする人の路上駐輪が発生していることから、今年度、中央1丁目でコインパーキングの一部を借り上げて自転車駐車場とした社会実験の結果も踏まえ、今後は空き地、空き店舗を活用し、できるだけ目的の近くに分散型の自転車駐車場の設置を進めたい。



公明党

菅生 敬一

●保育園・認定こども園

問 現在、第2子の保育料の軽減措置の対象期間は第1子が6歳までであるが、小学校6年生までに引き上げることについて検討できないか。

答 第2子の保育料の軽減措置の対象期間を、第1子が小学校6年生までに拡大した場合、対象となる第2子の人数は約1,800人で、これに伴う財政負担は一般財源で年額2億4,000万円以上必要になると見込んでいます。本市の保育料は国の保育料基準額の7割程度に設定していることや、国においては、保育料の無償化の範囲拡大について検討がなされていることもあり、その動向を注視しながら適切に対応していきたい。



日本共産党議員団

鈴木 正樹

●中核市移行の問題点

問 中核市に移行することで向上する市民サービスは何か。

答 身体障害者手帳の交付など市、県の2段階で行っている行政サービスの一元化や迅速化が図られること、母子保健相談等に保健所の医師等が直接関わることにより質の高いサービスが提供できること、感染症発生などの緊急事態に国から直接情報を得て、市民への周知や初期態勢の整備を迅速に行えるようになり市民の生命・健康が守られることなどが挙げられる。

また、移譲される権限を活用することで自主性や自立性を高め、県都としての中心的な役割を果たし、活力ある地域づくりが実現できる。



議案等の審議結果

(12月定例会)

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
		日付	結果	
第79号議案	平成26年度福井市各会計歳入歳出決算の認定について	11月2日	認定	●
第80号議案	平成26年度福井市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第81号議案	平成26年度福井市ガス事業会計決算の認定について	〃	認定	●
第82号議案	平成26年度福井市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	〃	原案可決及び認定	●
第83号議案	平成27年度福井市一般会計補正予算	11月30日	原案可決	●
第84号議案	フェニックス・プラザの設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	
第85号議案	福井市民福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について	〃	〃	

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
		日付	結果	
第86号議案	福井市体育施設条例の一部改正について	11月30日	原案可決	●
第87号議案	工事請負契約の変更について(東安居団地C棟新築工事)	//	//	
第88号議案	福井市自動車駐車場の指定管理者の指定について	//	//	●
第89号議案	フェニックス・プラザ及びフェニックス・プラザ自動車駐車場の指定管理者の指定について	//	//	
第90号議案	福井市民福祉会館の指定管理者の指定について	//	//	
第91号議案	すかっとランド九頭竜及びすこやかドームの指定管理者の指定について	//	//	●
第92号議案	福井市の児童館の指定管理者の指定について	//	//	
第93号議案	福井市研修センターの指定管理者の指定について	//	//	
第94号議案	福井市みやま長寿そば道場「ごっつおさん亭」の指定管理者の指定について	//	//	
第95号議案	福井市国見岳森林公園の指定管理者の指定について	//	//	
第96号議案	福井市治水記念館の指定管理者の指定について	//	//	
第97号議案	福井市東山健康運動公園の指定管理者の指定について	//	//	
第98号議案	福井市文化会館の指定管理者の指定について	//	//	
第99号議案	福井市一乗谷朝倉氏遺跡復原町並の指定管理者の指定について	//	//	
第100号議案	字の区域の変更について	//	//	
第101号議案	教育委員会委員の任命について	//	同意	
第41号報告	専決処分報告について(東安居団地C棟新築給排水衛生設備工事)	11月2日	受理	
市会案第3号	災害ボランティア割引制度に関する意見書について	11月30日	原案可決	

(12月定例会)

請願・陳情等の審議結果

請願・陳情番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
		日付	結果	
請願第3号	災害ボランティア割引制度に関する意見書提出について	11月30日	採択	
陳情第1号	年金積立金の専ら被保険者の利益のための安全かつ確実な運用を求める意見書提出について	//	不採択	●

(12月臨時会)

議案等の審議結果

議案番号	件名	審議結果		賛否が分かれた議案 (●印の賛否状況は15頁に掲載)
		日付	結果	
第102号議案	福井市職員の再任用に関する条例の一部改正について	12月24日	原案可決	

賛否が分かれた議案等一覧

賛…賛成 反…反対 欠…欠席

※原則議長（堀江廣海）は採決に加わりません。

議案番号	審議結果	志政会										一真会										市民クラブ					公明党		日本共産党議員団	市議会議員会			
		加藤貞信	石丸浜夫	青木幹雄	野嶋祐記	伊藤洋一	藤田諭	後藤裕幸	水島秀晃	瀧波滋	近藤實	皆川信正	見谷喜代三	今村辰和	堀江廣海	奥島光晴	谷本忠士	泉和弥	田中義乃	八田一以	福野大輔	吉田琴一	堀川秀樹	中村綾菜	玉村正人	片矢修一	村田耕一	下畑健二	島川由美子	菅生敬一	西村公子	鈴木正樹	池上優徳
第79号議案	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
第80号議案	原案可決及び認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第81号議案	認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第82号議案	原案可決及び認定	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	欠	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第83号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第86号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第88号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
第91号議案	原案可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	
陳情第1号	不採択	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	-	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	

議会日誌（平成27年10月～12月）

10月 1日	決算特別委員会（～2日）
7日	全国競輪主催地議会議長会役員会（東京都）
10日	姉妹都市交流事業（熊本市）（～11日）
13日	地域の活力創造対策特別委員会
19日	福井県市議会議長会中央要望活動（東京都）
20日	県都の魅力創出対策特別委員会
21日	北信越市議会議長会理事会、評議員会（長岡市）
23日	議員全員協議会、議会運営委員会
27日	全国競輪主催地議会議長会役員会、第117回臨時総会（静岡市）
29日	福井県市町議会議員合同研修会
30日	第39回福井県自治会館組合議会定例会 第2回定例福井県市町総合事務組合議会 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
11月12日	第27回都道府県庁所在都市議長会定期総会（和歌山市）
12月 4日	福井坂井地区広域市町村圏事務組合議会全員協議会、第164回定例会（あわら市）
17日	議会運営委員会

12月定例会

11月 2日	本会議
4日	議会運営委員会
9日	本会議（一般質問）
10日	本会議（一般質問）
11日	本会議（一般質問）
16日	総務委員会、建設委員会
17日	教育民生委員会、経済企業委員会
24日	予算特別委員会
25日	予算特別委員会
26日	議会運営委員会
30日	議員全員協議会、本会議

12月臨時会

12月24日	本会議
--------	-----



議会報告会を開催します

議会基本条例に基づき、議会報告会を開催します。

平成28年度当初予算や、市民生活にとって重要な議案の議決結果、審議の経過について報告します。

市政全般について、皆様のご意見をぜひお聞かせください。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

と	き	ところ
4月	5日(火) 19:00~	東安居公民館
4月	7日(木) 19:00~	豊公民館
4月	7日(木) 19:00~	東藤島公民館
4月	12日(火) 19:30~	安居公民館
4月	12日(火) 19:30~	国見公民館
4月	14日(木) 19:00~	中藤島公民館
4月	15日(金) 19:00~	日之出公民館
4月	15日(金) 19:00~	文殊公民館



平成26年に開催した議会報告会の様子

※事前の申込は必要ありません。

編集後記

今回で200号の発行を迎えることになった「ふくい市議会だより」。編集委員会では第1号から第199号まで、すべての市議会だよりに目を通しました。そこで市議会の歩みや市政の歴史について振り返ることができ、とても良い機会になりました。市民の皆様と歩んできた市議会の歴史を大切にするとともに、新しいことにもチャレンジしていきたいと、心新たにしました。皆様はいかがだったでしょうか。ご感想をお待ちしております。
(中村、片矢)

請願・陳情等の提出について

請願・陳情などは、基本的にいつでも提出できますが、年4回(3・6・9・12月)開催される定例会で審議されますので、提出時期等詳細については事前に議会事務局へお問い合わせください。

中継する会議

インターネット
中継を実施
しています

- ・本会議
- ・各常任委員会
- ・各特別委員会



福井市議会では、より多くの皆さまに議会活動をご理解いただくため、**YouTube(ユーチューブ)のインターネットストリーミングサービス**を利用した録画放送の配信を行っています。

傍聴に来られない人も、会議の映像をご覧になれます。

※インターネット中継は、福井市議会ホームページからご覧いただけます。なお、この中継は、福井市議会の公式記録ではありません。

次回は
3月定例会
です。

日程は
ホームページで
掲載中です

傍聴して
みませんか

傍聴できる会議

なお、本会議、予算特別委員会の模様は、ケーブルテレビのふくチャンネル121chで生中継及び録画放送されます。

※議場は席によって温度差があるため、傍聴の際には温度調整ができるような服装でお越しいただくことをおすすめします。

本会議

(席数：91席 車イス用：6席)

常任委員会

総務・建設・教育民生・経済企業

議会運営委員会

特別委員会

予算・県都の魅力創出対策・地域の活力創造対策

議員全員協議会



お問い合わせ

☎0776-20-5506 議会事務局 庶務課